

所属：創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻 2年

氏名：谷角 優也

派遣期間：2019年3月12日～2019年3月20日

派遣先：台湾 台湾師範大学

1. 概要

私は2019年3月12日から2019年3月20日の間、台湾の台湾師範大学に留学し、科学全般の学習、理解の向上のため様々なプログラムを行った。私は自分のスキル向上のために必要だと考えている語学力の向上と、新たな経験を刺激を受けることでやりたいことを見つける目的で参加しました。

2. 台湾師範大学の学生との交流

台湾師範大学の学生は、公用語である中国語だけでなく英語や日本語も話せる方が多く、また参加した我々学生へのおもてなしが多かったのでプログラムを行うのが楽しかったです。また勉学への好奇心が強く、わからないことがあると詳しく聞いてきました。そのような意識が自分にも大切だと感じさせられました。



3. プログラムで実施した内容

数学や化学、生物実験や情報科学の授業を行った。その中でもグループワークとして行った台湾地震に関する地質調査では、過去にあった地震について学んだ。

921地震は、台湾時間の1999年9月21日に台湾中部を震源として発生した。この地震は台湾全域で猛威を振るった。この地震による被害の跡地をいくつか回ったが、地震の大きさを物語る者ばかりでした。実際、地質調査ではある地

点の起伏を測定することで、マグニチュードを測定するものであった。あらかじめ予習していったが、コミュニケーション不足で苦戦しました。自身の力不足を痛感しました。



4. 最後に

私は海外経験を増やすために、今回のプログラムに参加しました。初めは英語を聞くことに苦戦していましたが、徐々に耳が慣れてきてコミュニケーションが増えました。今後、語学研修に参加してみたい人や、何か自信をつけたい人にはお勧めできるプログラムでした。ぜひ、一人でも友達と一緒にでもいいので参加してみてください。

今回お世話になった先生方や学務の方々、そして台湾師範大学の皆様に感謝を申し上げます。



プレゼンテーション